

# 生涯学び続ける自律的な アクティブ・ラーナーの育成をめざして

## 主体的な学びを促す 教育改善に向けて

学生の主体的な学びを促す教育改善に向けて、様々なプロジェクトが進行しています。県大型アクティブ・ラーニングの推進により、既に多くの学生が能動的な学修を経験していますが、更なる学びの質向上を図るため、「ファカルティ・ディベロッパー (FDer)」「学修支援アドバイザー (SA)」養成の取組を開始しました。今号では、昨年度に実施した各種取組をご紹介します。



アクティブ・ラーニング実践科目「地域情報発信論」授業風景

## ファカルティ・ディベロッパー養成プログラム（入門編）を開講しました。

本事業では、学生の主体的な学びを促すアクティブ・ラーニングの導入を牽引する「ファカルティ・ディベロッパー（FDer）」を、各学科及び総合教育センターの中に2名以上、事業終了時まで全学で30人以上養成することとしています。平成27年度は、FDerを養成するための「FDer養成プログラム（入門編）」を開講し、年4回の養成講座を実施しました。

各回の養成講座では、学外から専門家を講師として招聘し、アクティブ・ラーニングの導入や実践、評価に関する専門的かつ実践的なお話をしていただきました。3つのキャンパスから多くの教員が参加し、FDerとして活動するための基礎的な知識や技能を修得しました。この「入門編」に引き続き、28年度は「応用編」を開講します。

### 第1回 FDer 養成講座

日 時：平成27年9月14日（月）  
場 所：広島キャンパス講義室  
講 師：佐藤 万知 先生（広島大学 准教授）  
テーマ：『FDerとしてアクティブ・ラーニングを考える』



### 第2回 FDer 養成講座

日 時：平成27年12月1日（火）  
場 所：広島キャンパス2313講義室（主会場）  
講 師：吉田 香奈 先生（広島大学 准教授）  
テーマ：『広島大学の教養ゼミにおけるPBL（Problem-Based Learning）の導入について』



### 第3回 FDer 養成講座

日 時：平成28年2月19日（金）  
場 所：広島キャンパス大講義室（主会場）  
講 師：佐藤 浩章 先生（大阪大学 准教授）  
テーマ：『アクティブ・ラーニングを促す30の技法』



### 第4回 FDer 養成講座

日 時：平成28年3月4日（金）  
場 所：広島キャンパス大講義室（主会場）  
講 師：安藤 徹 先生（龍谷大学 教授）  
テーマ：『アクティブ・ラーニングの評価について：ループリックの現状と課題』



## 平成27年度教育改革フォーラムを開催しました。



平成28年3月4日（金）、広島キャンパス大講義室を会場として、「平成27年度県立広島大学教育改革フォーラム」（兼「第4回 FDer養成講座」）を開催しました。フォーラムの様子は、庄原・三原キャンパスにも同時配信しました。

今年度は「アクティブ・ラーニングの導入と評価」をテーマに、龍谷大学・安藤 徹 教授を迎えてループリックの導入事例を学ぶとともに、本学におけるアクティブ・ラーニングの実践報告を踏まえて、全体討議において本学 AP事業の今後の在り方を議論しました。

当日は FDer候補者を中心とした本学教員をはじめ、職員や学外者の参加もあり、本学の取組を学内外で共有する有意義な機会となりました。

### フォーラムテーマ「アクティブ・ラーニングの導入と評価」

14:00～14:20	挨拶・講師紹介	16:45～17:25	全体討議
14:20～15:30	講演&ワークショップ (講師：安藤教授)	17:30	閉会
15:40～16:40	県立広島大学における事例紹介		

## 学修支援アドバイザーの養成に係る各種研修を実施しました。

学生同士が互いに支え合う仕組みの実現を目指した「学生による学生支援」を推進するため、本事業では「学修支援アドバイザー(SA)」を学生の中から募り、事業終了時まで55名以上養成することとしています。平成27年度は、学修支援アドバイザーを養成するにあたっての基礎知識を学内で共有する教職員向けの研修会、及び学生を対象とした学修支援アドバイザー養成講座を実施しました。

### 学修支援アドバイザーの養成に係る研修① (兼 教育ネットワーク中国平成27年度第5回研修会)

日時:平成27年12月24日(木)  
 場所:広島キャンパス大講義室(主会場)  
 講師:①林 透 先生(山口大学 准教授)  
 テーマ『学生との協働による教育改革』  
 事例紹介:②尾野本 悟 先生(広島工業大学 特任教授)  
 ③木本 一成 先生(広島経済大学 准教授)



### 学修支援アドバイザーの養成に係る研修②

日時:平成28年2月18日(木)  
 場所:広島キャンパス2313講義室(主会場)  
 講師:清水 栄子 先生(愛媛大学 講師)  
 テーマ:『教職協働で育てる学修支援アドバイザー』



## 学修支援アドバイザー養成講座を開催しました。

平成28年3月24日(木)、広島キャンパス講義室を主会場に、学修支援アドバイザー候補者を対象とした研修「学修支援アドバイザー養成講座」を開催しました。研修には、3キャンパス合わせて19名が出席し、学修支援を行うに当たり必要な知識や技能を学びました。

また当日は、FDerである教員が数名参加し、グループディスカッション時のファシリテーターとして進行をリードしました。研修では終始議論が活発化し、学生からの積極的な発言も多く、充実した時間となりました。

研修を受講した学生は学修支援アドバイザーとして登録され、各キャンパスのラーニングコモンズを拠点に学修支援を行います。アドバイザーの募集と養成講座は、今年度以降も継続実施していきます。



## pickup AP事業の取組を学外で発表しました

AP事業による教育改革の成果は、他大学への波及という観点から、学外で報告することが求められています。27年度は5つの学外イベントに参加し、FDer候補者がAP事業の取組を発表しました。簡単にご紹介します。

	発表フォーラム等	発表日・会場	発表テーマ
1	SPOD フォーラム 2015 (主催:四国地区大学教職員能力開発ネットワーク)	8月26日 愛媛大学(松山市)	行動型、参加型アクティブ・ラーニングとFD, SD
2	教育改革 ICT 戦略大会 (主催:私立大学情報教育協会)	9月2日 アルカディア私学会館(東京都千代田区)	アクティブ・ラーニングを軸とした教育改革と課題
3	比治山大学 比治山大学短期大学部 平成27年度 AP 第2回セミナー (主催:比治山大学・比治山大学短期大学部 質的転換加速化本部)	3月3日 比治山大学(広島市)	①県立広島大学における AP 事業全体のねらい・取組内容の紹介 ②「広島と世界」取組の成果と課題
4	AP 事業成果発表ジョイントフォーラム 2016 (主催:山口大学)	3月14日 YIC Studio 2 階講堂(山口市)	県立広島大学の教育改革とアクティブ・ラーニング
5	第22回大学教育研究フォーラム 2016 (主催:京都大学高等教育研究開発推進センター)	3月17日 京都大学(京都市)	①大学体育における総合性拡大の試み ②全学共通教育科目「地域の理解」授業改善の試み

## 行動型学修に係る経費助成事業について

本事業では、行動型学修<sup>\*</sup>の導入を促進するための経費助成を実施しています。平成27年度は計13件の申請があり、学生のキャンパス移動やフィールドワークへ赴く際の交通費を助成しました。この経費助成により多くの学生が、地域をフィールドとする実習や、他キャンパスの教員・学生との交流を伴う学修を経験することが出来ました。

※ 学外実習やフィールドワーク、他キャンパスの教員・学生との交流を伴う学修など、教室外における学修の総称

	対象科目（一部）	科目区分	実施日	内容
1	食品衛生学実験	健康科学科	7月28日	キャンパス間交流、現地体験
2	地域情報発信論	全学共通教育	8月31日～9月4日	キャンパス間交流
3	プロジェクト研究	経営学科	9月14日～9月15日	フィールドワーク
4	留学生と学ぶ広島	全学共通教育	10月3日	キャンパス間交流、現地体験
5	意思決定論 応用情報システム開発論	経営情報学科	11月11日	現地体験
6	東アジア地域史論演習	国際文化学科	12月5日	フィールドワーク
7	地域の理解	全学共通教育	2月7日	キャンパス間交流

## gallery ~アクティブ・ラーニングの様子~



地域情報発信論：グループワーク



食品衛生学実験：他キャンパスでの学修



国際文化学概説：ディスカッション



地域情報発信論：フィールドワーク



地域の理解：フィールドワーク



東アジア地域史論演習：  
ラーニングcommonsでのプレゼンテーション



意思決定論・応用情報システム開発論：  
学外実習（企業訪問）

### ■ 県立広島大学 AP 関連ホームページ

AP 事業ページ（大学 HP 内）  
<http://www.pu-hiroshima.ac.jp/site/ap/>  
 ラーニング・commons紹介ページ  
<http://www.pu-hiroshima.ac.jp/site/lcs/>

### ■ 本学 AP 事業に関するお問い合わせ先

#### 県立広島大学 AP 事業推進部会（経営企画室内）

〒734-8558 広島県広島市南区宇品東一丁目1番71号  
 E-mail:kaiikaku@pu-hiroshima.ac.jp Tel:082-251-9727（直通）、Fax:082-251-9405

### 編集後記

今号は多くの写真とともに、本事業の取組を広く紹介しました。県大の活気あふれる“アクティブ”な様子は十分に伝わりましたでしょうか。生き生きと学修に励む学生の姿には、職員として嬉しさを感じるとともに、日々沢山のエネルギーをいただいています。今年度はFDer や学修支援アドバイザーの活動が本格化します。本ニュースのほか、大学 HP 等を通じて、引き続き本学の様子を発信していければ幸いです。（AP 事業推進部会ニュース編集担当 伊藤 俊）